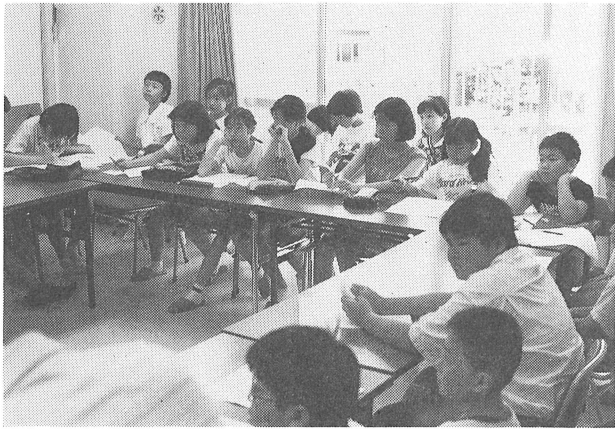




# ゆり北

第100号 (10期第4号)

発行・光が丘パークタウン

ゆりの木北自治会

東京都板橋区赤塚新町

3-32-4-403

電話 03 (3938) 9181番

発行責任者 吉 柳 俊 孝

## '92ゆりの木夏まつり 楽しく輪を広げよう

今年も来ました

### サウンド・ブレイカーズ

今年で、ゆりの木夏祭りに七年演奏させて頂くことになりました。さて、若干我々の事を紹介させていただきます。

サウンド・ブレイカーズこと「サウンド」響き「ブレイカー」安全器(電柱から建物へ電線が引かれて初めに通るヒューズの入った箱)一当バンドは、昭和五三年に足立区で産声を上げて早十余年になります。

メンバーもサラリーマン、OLはもとより、会社の社長、町火消し、コンピューターのオペレーター、大工、ダンブの運転手から、結婚式の司会者、電話、ペンを持つ人、のこぎり、かなづちを持つ人、消火ホースを持ち、梯子に登る人と、多種多様です。その様な人たちがお客さんの苦情、上司のお叱り、会社の失敗等のストレスの発散に集まって、ホ

8月29日(土)

8月30日(日)

|      |                                         |
|------|-----------------------------------------|
| 3:00 | 模擬店開始<br>手作りコーナー<br>(竹細工) 開始            |
| 30   | 子供みこし                                   |
| 4:00 | オープニングセレモニー<br>(すいか割り)<br>お楽しみコーナー開始    |
| 5:00 | ときめきピエロ館<br>(移動劇場グループてん<br>: 歌・パントマイムなど |
| 6:30 | お楽しみコーナー終了                              |
| 7:00 | サウンドブレイカーズ、<br>ダイアナ演奏<br>(第1部=子供向け)     |
| 7:55 | 夏祭り会長あいさつ                               |
| 8:00 | サウンドブレイカーズ、<br>ダイアナ演奏<br>(第2部=大人向け)     |
| 9:00 | ステージ終了                                  |
| 9:30 | 終了                                      |

|      |                                      |
|------|--------------------------------------|
| 3:00 | 模擬店開始<br>手作りコーナー<br>(竹細工) 開始         |
| 30   | 子供みこし                                |
| 4:00 | オープニングセレモニー<br>(風せん割り)<br>お楽しみコーナー開始 |
| 5:00 | ギター演奏(有志)                            |
| 6:00 | サウンドブレイカーズ、<br>ダイアナ演奏<br>(第1部=子供向け)  |
| 6:30 | お楽しみコーナー終了                           |
| 6:55 | 夏祭り副会長あいさつ                           |
| 7:00 | サウンドブレイカーズ、<br>ダイアナ演奏<br>(第2部=大人向け)  |
| 8:00 | ステージ終了                               |
| 8:30 | お祭り終了                                |
| 9:30 | 跡片づけ終了                               |

古本バザー、雑貨バザーも午後3時～6時に行います。

### 今年も張りきる こども実行委員会

今年もこども実行委員会は、出足早く活動を開始しました。七月十九日の第一回会合には、四十名のこども達が参加しました。ここでは、ポスターづくり、お楽しみコーナーの分担、リーダー・サブリーダーの選出、お御輿づくり等を話し合いました。

こども実行委員会には、七月二十一日現在で四年生八名、五年生十八名、六年生二十名でその後も希望者が増えていきます。92ゆりの木夏まつりが「手作りの祭り」として発展する原動力がここにあります。

当日、こども達と共に各コーナーを運営して下さる方を募集しています。お引き受けいただける方は、自治会役員までお申出下さい。

### ご協力をお願いします

- (1) ゆりの木通りの通行止め  
夏まつりのため、ゆりの木通りの入口から十号棟までが次の時間通行止めになります。  
八月二十九日(土)  
正午から午後十時まで

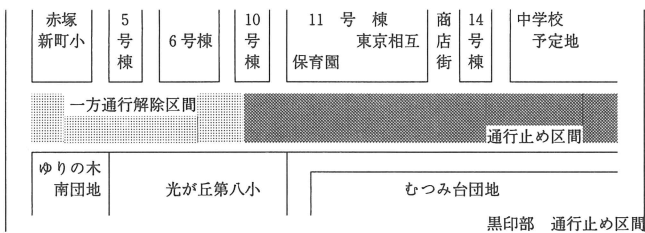
- (2) 一方通行の解除  
ゆりの木通りの通行止めにとともに、駐車場への出入りのため、一方通行を解除します。出口側より十号棟まで。時間は(1)に同じ。

- (3) 自転車移動  
夏まつり当日の混雑対策として、

### お騒がせします

終了時間は

八月二十九日(土)  
午後十時  
八月三十日(日)  
午後九時三十分



# 第百号記念特集

## —ゆり北はこのまちのもの—

### 座談会

## ゆり北、十年の軌跡

「ゆり北」は、今月号をもって第百号を迎えました。いままで「ゆり北」にたずさわっていた人達を集めて、「ゆり北」について座談会を開きました。時間にして三時間あまりでしたがあっという間に過ぎました。(以下は抜粋して紙上再現したものです。)

今日はお忙しいところ「ゆり北」第百号集にお集まりくださりありがとうございます。

(司会) 早速ですが、みなさんがゆり北を担当された時の印象をお伺いいたします。

(渡辺) 私が担当した時は、エネルギーシユな女性が多数いて、その中でゆり北を発行し、楽しかった思い出があります。反面、予算が少なく、写真の張り付けの枚数を気にしたこともありました。いまの印刷屋(金子印刷)さんをお願いしたのも私の時からだと記憶しております。

(竹内) 先ず私たちが広報を担当した時に考えたことは、チラシ等と違う、ある程度の形(内容)の整っているものをつくることを心がけました。

次に、多数の自治会員に書いてもらうことを原則に、自ら広報部では記事を書かないことにしました。

(西沢) 月一回の発行は、すぎ来てしまうことです。月の一日には、原稿を集め、張り付け、一五日には印刷屋さんへ発送、二〇日には校正、各号棟への配達という具合ですぐ来てしまう。

楽しい紙面づくりが楽しくなくなってしまうことがあります。

(阿部) 私の記憶では直接広報はやっていませんでしたが、事務局をやっていたので毎年総会号を発行し、苦

劳しました。

毎年同じ様なことをやっているの  
で、昨年のもので全く同じもので年  
号だけ替えてしまおうかと思ったこ  
とが何回もありました。(笑)

そうゆう訳にもいかなないので難し  
い・例えば写真などもあの場面のと  
思っても見つからないことが多かつ  
た。

(西沢) それにしても、よく切れな  
いで発行しましたね。

(阿部) 光が丘連絡協でも、びっく  
りしています。

(司会) 次にみなさんにとって一言  
「ゆり北」はどんなものでしょうか。

(西沢) 無視できない存在です。

(竹内) やっぱりそれは、「ゆり北」  
にかかわってきているからよ。



(森下) 私の場合には、役員になる  
前には、自治会そのものへの意識が  
希少だったため、あまり気に留めて  
いなかった。

(越沼) 広報部に入る前まで、あま  
り読んでいませんでした。ただ何年  
か前の記事(ゆりの木通りがバス通  
りで計画決定)はいまでも鮮明に覚  
えています。

(司会) 一般の会員は、ただの自治  
会便りでは、あまり読んでくれない。  
興味を引く記事(見出しや写真)を  
みて読む気になると思う。

(司会) 最後にこれからの広報に対  
して要望をお伺いいたします。

(渡辺) 月一回発行ということ、  
たいへんだという理由から、広報活  
動に対しての批判が少ない様に思え  
る。役員会でも、広報部への要望等  
もでない。

(竹内) 最近の「ゆり北」を見ると、  
かなり記事をご自分で書かれているよ  
うですが、原稿を依頼していないの  
ですか。

(越沼) 本当に書く暇がない人や書  
くことが嫌いな人だったら、無理に  
勧めることができないと思ひ積極的  
に原稿の依頼をしています。(私  
の場合には、文章を書くのがあまり  
好きな方ではありません。)

(竹内) 私たちの時には新聞討論と  
いう特集を組み、ある議題に対して  
多数の自治会員(無作為に抽出)に  
紙面上で参加してもらいました。ま

た原稿を依頼するときも、例えば  
「ペット問題について」漠然と書い  
てくださりだけでなく、その中でもっ  
と絞りこんで依頼した方が書き易い  
ときは、それをお願いしたときもあ  
りました。

(越沼) わかりました。

(竹内) 人数が多いと広報は楽なん  
ですが、例えば取材活動がいけるし、  
編集に時間を費やせる。

(森下) 去年に比べれば、一人増え  
て三人で活動していますが、多いと  
は言えません。現在自治会役員でも、  
定員割れしている状態です。

(竹内) 光連協の広報部同志で情報  
交換をしてみたらどうですか。

(西沢) どうも見出しががたい様で  
す。例えば「第一回自治委員会報告」  
なんて書くとしたれも読んでもらえま  
せん。もうちょっとやわらかくでき  
ないでしょうか。

また文字の飾りなどは、もっと工  
夫すれば、紙面が豊かになると思ひ  
ます。

(竹内) それと紙面の幹をつくるの  
がシリーズものだと思います。私た

## 「会報ゆり北」に脱帽

月刊光が丘発行人 佐藤 一水

何かをやらうとするとき、困難な  
ことがあっても最初は情熱でなんと  
か乗り越えられますが、その情熱を  
持続させていくエネルギーは並大抵  
のことではありません。想像以上に  
労力がかかる広報紙を発行し続けて  
百号を迎えるのは、大変な苦勞だっ  
たと思います。そうした中で充実し  
た紙面を保っていることに、タウン  
誌の発行人として、ただ、ただ、脱  
帽するのみです。

貴紙を読んでいると楽しみなのは、  
住んでいる人たちの声が聞こえてく  
るということです。故郷自慢のエッ  
セイや生活にそくした投稿が掲載さ

ちのときは「バードウォッチング」、  
「園芸」をそれぞれ一〇回ぐらい続  
けました。

(田中) シリーズを書いてくれる人  
を捜すことが重要ですね。

(竹内) もちろんです。

(越沼) これから竹内、西沢両先輩  
にシリーズものの執筆をお願いし  
ていきます。(笑)

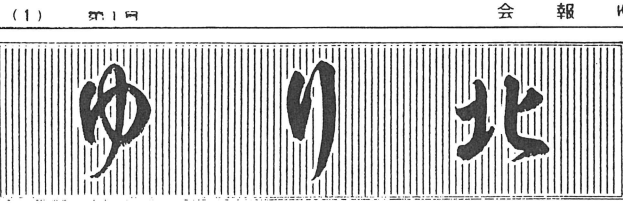
(司会) 最後に会報「ゆり北」は、  
このまちのものであるということ  
これからも歩んでいきたいと思ひま  
す。

みなさま長い間どうもありがとう  
ございました。

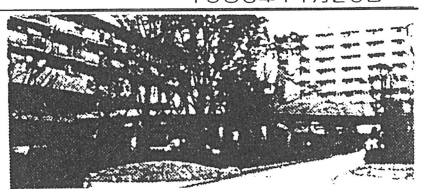
### 出席者

渡辺 利治 四一七〇五(前広報部)  
阿部 憲一 一八〇九(前事務局長)  
竹内 朝子 一八九〇五(前広報部)  
西沢由美子 一四一三(一四一四)  
森下富士男 一七一〇五(事務局長)  
(司会)  
吉柳 俊孝 四一四〇三(広報部)  
田中 奨 一六〇三(一六〇四)  
越沼 環 一三一九〇三(一三一九〇四)

れていて、ゆり北に住む人々の人柄  
が伝わってきます。  
自治会の活動に関する記事は、と  
かく事務的な表現になりがちですが  
「会報ゆり北」は分かりやすく、親  
しまれるように、という編集者の心  
くばりが感じられます。  
お知らせや人物紹介にとどまらず、  
ペット問題等を提起して、紙上討論  
を企画されているようですが、活発  
な意見交換が楽しみです。  
これからの、パークタウンにおけ  
る自治会広報紙の先達として「会報  
ゆり北」が活躍されますよう、期待  
しています。



1983年11月20日  
第1号  
発行・光が丘パークタウン  
ゆりの木北自治会  
東京都板橋区赤堀新町  
3-32-13-506  
電話03(977)3842



## ゆり北に応援を!

「広報ゆり北」が百号を迎えたことは、編集にたづさわった一人としてとても喜ばしいことです。

私が、ゆり北団地に越えてきて、数年の頃、自治委員を引き受けさせられました。私は、地域のことは何も知らないし、私に出来る仕事は広報ぐらいかな?と思

境等にもなれたならばよいな?と軽い気持ちで広報にとりくみました。それがなんと五年もかかってしまったのですから、(自分でもおどろきです。)会員の皆様に愛され、楽しんで読んでもらうためには、どのようにしたらよいか、ずいぶん悩み考えました。なにしろ部員が、いつも二、三人です。すぐにアイデアはつきてしまい、それでも、少し老化現象がはじまった頭をフル回転させて、シリーズ物や新聞討論、マンガ、ふるさと紹介等あればきりがありませんが、読者の皆様(こういつては少しのぼせているかもしれませんが)には、結構楽しんでもらえたのではないかと、自負しております。そしてこれには、執筆していただいた方のたいへんご苦労とご協力があ

## 十号棟 竹内 朝子

ったことを感謝申し上げます。  
「広報ゆり北」は、私達の目となり耳となって、地域の情報や山積みする問題などの確にそして迅速に知らせる使命があるのと共に、文化面でも皆んなが楽しめる企画をどんどん作ってほしいと思うのです。それにはやはり、多少のスタッフが必要です。仕事は少しきついかもしれませんが、「広報」が出来上がった時の喜びは、又一段とうれしいものです。ぜひ参加して下さい。  
住民に密着した「広報ゆり北」の発展を望むにあたり、自治会には「ゆり北」があるのだ、ということ忘れずに、何か気がついたら数行でもよいから広報部に送ってください。これが、私達のコミュニケーションになるのです。

## 最近気になることと気づくこと

### 十四・四〇九 堤 達

この間、ペットを飼える集合住宅の研究を始めたとの新聞の記事がありました。まあ、たしかにそういう集合住宅が考えられても良い時期だとも思います。しかしそれはそれとして、ペットの問題はこのゆり北が出来てから問題にはなっていたものの何となく避けられてきたように思います。最初は前(の住居)から飼い続けてきてペットを捨てられずにいた人が多かったようですが、この問題がデリケートな部分を含んで居たために、正面から論じられないまま、そうこうしているうちにこちらに来てから飼いだめた人もあるようです。最近「猫飼うな」との落書が某号棟入口にあるのを見てこの問題についてもう一度どこかで取り上

げる必要があると感じた次第です。その同じ某号棟入口近くに、(それは土曜日のことでした)野良猫に餌付けをしてあるのか?、ペットフードが置いてあったことがありました。同じように、光が丘公園でも「鳩に餌をやるな」との注意書きがあるにもかかわらず、委細かまわず餌を撒いている人もあります。ペットはともかく都会の動物に殊更餌をやる必要はなく、あの広島ではペランダに布団を干せないなど大変な公害になっているようです。ペットの問題はともかくとして野良猫、野良鳩に餌付するのは絶対にやめましょう。

夜、アルミ缶をゴミステーションに集めるくる中年女性がいきました。

崇拜したものには「力」だけでなく美意識も十分バランス良く表現されています。例えば、皆様方もよく知っているダージマハールは、左右対象でバランスが非常に良くとれた、大変美しい白い寺院であり、何度訪問しても飽きない名所です。このような寺院や城などを訪問して気付くのは、りっぱな大理石を敷き詰めた床、壁、天井の壮大さやその大理石自体に貝や石自体の色を使って模様を施した細工の美しさである。今でも「おみやげ屋」では、物自体の天然の美しさ(例えば Stone Color など)を強調します。その強調の仕方のしつこいことと言ったら、「みやげ」を買うまで繰り返して、根気負けで買ってしまう人が多いと思います。買う場合でも、どの程度値切るのが問題です。私は通常定価の四割にしると主張するようにしていま

(二度ほど遭遇して同じ人だと確認しました)最初はドロボーかと思っ

インドは昨年の中東戦争の影響で外貨不足となり、それ以来外資導入を積極的に進め、経済の自由化政策を取ってきたため、経済状態は急速に回復してきたが、その状態はそう簡単には変わるものではない。そこで、今まで四回に亘りインドを紹介してきたが、「ゆり北」の百号記念として、本稿を掲載しました。

以前より紹介している通り、インドは大変人間的な国で、私などは、まだ人間が人間らしく生きられる国であると思っています。

例えば、以前ラジャスタン州の州都であるジャイプールを訪問した時のことです。道には象の「ふん」と小便だらけで、飛んで歩くありさまで、まさにスキのウエデルンをやっている見たいでした。また象が「ふん」と小便をする様はなんとも雄大で汚いというイメージではなく、ただただ感心するばかりでした。バケ

## インドでの出来事その5

### 三・四〇四 福田 英治

かったり!

この都は別名ピンクシティという名で呼ばれています。変な予想はしないように。この町の建物の壁がピンク色をしていることから、そう呼ばれるようになったと聞いています。

この町の名産は宝石であるので、ある時、相当ネバりにネバッテ大変高級な宝石を安価で購入したつもりで、大いばりでバンコックまで帰っ

石でも大変美しく見えてしまうのです。そこが要注意なのです。

インドの町を歩いていると象の彫刻を売っている店がたくさんあります。もともと象は「よろずの神(ガネシヤ)」として崇拜されています。それは一種の「力の象徴」を意味しています。たぶん昔の王様は特に「力」にあこがれたあまり、「象」を崇拜したのだと思われます。その

す。決定価格は双方の中間値というのが、インドの相場感なので、買いたいという気持ちを押さえて四割にしろといってみてください。

す。決定価格は双方の中間値というのが、インドの相場感なので、買いたいという気持ちを押さえて四割にしろといってみてください。

こどもは地域で育つ！  
児童館・新町小で懇談会

六月十三日(土)にゆりの木児童館で、初めての地域児童関係者懇談会が開かれました。自治会、小学校PTA、小学校、学童保育父母会、民生委員が出席しました。児童館・学童保育クラブからは館長・職員が出席しました。最初に毎日百人近い児童が利用していること、幼児を対象とした幼児クラブが好評なこと、母親教室を通してお母さん方のサークルも育てようとしていること、今年の夏から中学生を対象にプレイリーダークラブを計画している事など児童館の活動状況が報告されました。自治会として、週休制度で日・月の休館はやむをえない面があるが、地域に児童館の持つノウハウを提供してほしい、年長児童に対する施策、学童保育の土曜休室への対策等の意見を述べました。

七月十一日(土)には、赤塚新町小で地域懇談会が行われました。

サークル紹介  
ピッピお話しめ会

今月号のサークル紹介は、「ピッピお話しめ会」です。  
もともと児童館の幼児クラブのOBのお母さん達を中心となって、自分の子供や児童館に来ている子供達におはなしを聞かせるクラブです。昔話や民話だけでなく、いろいろなおはなしを増やしていくつもりです。現在の会員は六名で語っています。

活動は、第二金曜日の午前一一時一〇分と第四火曜日の午後三時一五分からです。高学年の子供達や大人の方も一度参加して見ませんか。



自治会、小学校PTA、児童館、学童保育父母会、青健地区委員と小学校から校長、教頭、生活指導主任が出席しました。冒頭九月から始まる学校五日制(第二土曜日が休業)の説明がありました。公務員の週四十時間制、週休二日制が今年から実施され、それに伴う措置であるが、明治以来の長い学校教育制度の枠組みが変わることから、教科内容への影響などについて保護者にも様々な意見があるようです。学校が六月に行った調査では、総じて好意的のようです。こどもたちは、友達と遊びたい、家族と外出したい、のんびり自由にしたいなどの意見が多いようです。十五%のこどもにとっては親が働きに出ているとの数字も有ります。これらの子供を含め、PTAや自治会など地域で何等かの対応が求められています。

自治会では、学校五日制に対する

意見や第二土曜日にボランティアとして出来る事柄など様々な角度から掘り下げてみたいと思います。  
ご意見をお待ちしています。  
「ゆり北」九月号で特集します。  
原稿は九月六日(日)までに、広報担当までお届けください。

九月一日は  
防災訓練



九月一日と言っても、ピンと来る人は少なくなりました。関東大震災が有ったのはもう七十年も前のことです。その当時と建築構造も進歩し、都市の様相も変わりました。

しかし、地震災害の被害の大きさは、ロスアンゼルスなどの最近の地震からも察することが出来ます。

日本では、東海地震などの警告が出て久しくなります。「喉もと過ぎれば何とやら……」で、最近警戒心が薄れていると言われています。

今回行われる、板橋区の防災訓練は防災対応型の訓練ですが、日常の火災などにも活用できる、初期消火訓練、応急救護訓練などの訓練が含まれています。平日ですから、在宅の方を中心に参加して下さい。参加者には記念品が支給されます。

日時 九月一日(火)

午前十時より正午まで

会場 下赤塚小学校

集合 午前九時三〇分

ゆりの木保育園前

1992年度(第10期) 役員・自治委員・世話人名簿

| 号棟                                                                | 担 当 役 員                            | 自 治 委 員                 | 世 話 人                                    |
|-------------------------------------------------------------------|------------------------------------|-------------------------|------------------------------------------|
| 1                                                                 | 1-710 中 森 (厚生)                     | 505 近藤 510 川野<br>608 久坂 |                                          |
| 2                                                                 | 1-603 田 中 (広報)                     | 105 板山 507 久米<br>509 鈴木 | 103 金子<br>201 山下                         |
| 3                                                                 | 4-403 吉 柳 (広報)                     | 505 高見                  | 308 山下<br>204 堀内                         |
| 4                                                                 | 4-705 渡 辺 (住宅)                     | 408 東井 706 西村<br>1002 林 | 303 仲村                                   |
| 5                                                                 | 5-404 葉 山 (環境)                     |                         | 405 津田 708 西城<br>801 山田 903 伊藤           |
| 6                                                                 | 6-305 横 川 (事務)                     | 303 山本                  | 203 栗原                                   |
| 7                                                                 |                                    | 101 坂尾                  | 404 松崎                                   |
| 8                                                                 | 5-906 高 橋 (環境)                     | 103 高木                  |                                          |
| 9                                                                 |                                    | 206 沼田                  |                                          |
| 10                                                                | 10-809 阿 部 (厚生)                    | 406 植竹 901 内藤<br>906 平野 | 214 阿部 604 伊東<br>702 扇 708 岩倉<br>710 塩沢  |
| 11                                                                | 11-208 加賀谷 (事務)<br>11-912 安 倍 (環境) | 304 松本 807 関            | 204 白井 412 高橋<br>508 伊藤 604 松野<br>713 木村 |
| 12                                                                | 13-903 越 沼 (広報)                    |                         | 311 小泉 411 島<br>203 大木                   |
| 13                                                                | 13-203 清 水 (住宅)                    | 702 早川                  | 409 鶴澤 503 野呂<br>507 米岡 803 堀越           |
| 14                                                                | 11-703 森 下 (事務・住宅)                 |                         | 204 藤野<br>314 西澤                         |
| 監査                                                                | 10-502 相 川<br>11-311 菊 池           |                         |                                          |
| 住宅…住宅対策部<br>広報…広 報 部<br>厚生…厚生事業部 (リサイクル)<br>環境…環境防災部<br>事務…総務部事務局 |                                    |                         |                                          |

投稿  
団地はペットに住み良いか？

最近、世のペットブームを反映して、団地やマンションでのペットの飼育について、一律禁止でなく「飼育規則」をとる声が増える。この団地でも小鳥・魚類以外は禁止となっている。しかし、犬・猫は結構飼っている人がいるようだ。

半年ぐらい前には我が住棟にも、夕方から一頭の犬が出た。犬嫌いの私はいつも恐る恐る側を通り抜ける。ご機嫌を損ねて噛み付かれたら災難だと思っている。飼主が居るらしいという話も聞いた。また、商店街の北端では、野良猫にペット食を与えているご婦人がいる。

この団地は、昔の団地に比べれば広くなったと言うものの、国が目標とする百㎡の三分の二程度でしかない。もともとこれらのペットを飼育

することを想定しない設計で出来ており、その為に鳴き声、ふん尿等の臭いなどの苦情が多い。本来、動物は自然の中で過ごすか、家畜としてその生態に即した飼われ方が必要である。人間でも時に、狭さからくる重圧感や隣人に気兼ねすることなどもあるなかで、動物達はどう思っているのだろうか。

こどもの情操に良いと言う意見も聞くが、別にペット飼育を通じなければならぬと言うわけでもないだろう。

また、禁止の規則を破って飼育しているひとが、飼育の規則を守れるのかと言う意見も聞く。

「飼育規則」は当団地では時期尚早ではないだろうか。

編集後記

自治会広報「ゆり北」は今回で一〇〇号をむかえました。十年です。から月一回の定期発行をつらぬいて来ることが出来ました。

編集スタッフの努力の賜物ではありますが、なにより原稿をお寄せいただいた始めて、編集にたどりつくのですから、原稿をおよせいただいた会員の皆様の支えが一番です。

一方通行になりがちな、自治会広報ですが、新聞討論などの試みを通じて、会員の声を反映する様になりました。マンガ、イラスト、写真も出来るだけ使いたいと思っています。しかし、ズブの素人が作っているのですから、その度胸だけは買っ下下さい。

反応が少ないのが編集スタッフとしては少しさみしい気がします。きびしい意見をドシドシお寄せ下さい。

(四号棟・K生)